

館報

おみ

1月号
No.694

2025.1.25（令和7年）編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲ウインタースポーツのシーズン到来（聖高原スキー場）

新春座談会(上)

麻績村に移住して

平成三十一年一月号以来となる新春座談会を、一月十六日に地域交流センターで開催しました。

移住をテーマに、一月号と二月号にわけて、地域おこし協力隊伝統工芸班の木下良佑さん(野田沢)、伊藤朱音さん(宮本)、小野光さん(西之久保)、関根由真さん(菅の沢)、三田桃子さん(野田沢)と地域づくり支援員の杉山亜友美さん(聖)に語っていただきました。司会は、久保田優子館報編集委員長です。

司会 地域おこし協力隊伝統工芸班の皆さんの業務と出身地、どのように麻績村を知って住むこととなったのかを教えてください。

木下 紙すきで紙を作りつつ、楮(こうぞ)を育てています。出身は埼玉県で、紙すきや畑で野菜を作ることに興味があって、インターネットで調べたら麻績村で協力隊の募集をみつけて応募しました。今は三年目で、もう少しで任期が終わります。

伊藤 千葉県出身です。十二月から新しく伝統工芸班になり、今は先輩の隊員の方から染め織りや紙すきを一通り教えていただいて、

試行錯誤している段階です。

小野 出身は東京です。伊藤さんと同じで十二月から協力隊となったので、同じく一通り勉強している最中です。

杉山 熊本県出身です。協力隊伝統工芸班で三年間活動して、地域づくり支援員となつて四年目で、麻績村には七年間で、今は伝統工芸班のサポートをしています。

関根 出身は埼玉県で、協



▲杉山亜友美さん



▲座談会の様子

力隊になって三年目です。

草木染め、機織りの他にマルシェのイベントを企画しました。麻績村は自然豊かで受け継がれている文化や暮らしに興味があって来ま

した。

三田 出身は兵庫県で、業務は草木染めをメインでやっています。麻績村へ来た理由は、土が近くにある暮らしをしたかったからです。それに自分で服などを作ってみて自分でも作ると、関連して染色がしたくて。どちらか叶えられそうだったのが麻績村だったからです。



▲三田桃子さん

司会 麻績村での冬を初めて体験されている方や何年も生活されて方もいるわけですが、生活大変だなんてことや、すごく良かったと思うこと、すごいカルチャーショックを受けたことなどがあれば教えてください。

木下 やはり自然が近くにあるっていうのが、すごく大きいですね。

司会 寒さとか大丈夫ですか。

木下 一年目は大変でした。本当に体を壊しそうで。ち



▲木下良佑さん

ようどコロナの時期と重なって。この寒さに対して、どうやって過ごせばいいのか。でも三年目になると、こんな感じかなと、慣れてきました。雪かきも生まれて本当に二、三回やったことがあるくらいでした。

司会 昔のようなドカ雪は最近降らないので、まだ最近の雪かきは楽な方ですよ。あと、お店に行くのが遠くて大変だとか、困ったことはありますか。

木下 麻績村に来る前にお店を調べたら、スーパーやコンビニなどがあって、日常生活は割とできるのかなと思っていました。長野や松本などに行けるので、それぞれの町で文化や雰囲気、また違って、面白いなど。

伊藤 一番苦労しているのは、やはり寒さです。ひと倍寒さに弱い体質で、麻

績村に来る前から予想はしていたのですけれど。寝られない日も最初はありませんが、寒いからこそ見られるアルプスなどの景色もあって。窓ガラスが凍って、氷の結晶みたいになって、これは寒さが作ってくれているという小さな幸せも感じています。また寒さを利用して、保存食とかもできる。そうやって、寒さを楽しんで生きていきたいなって。



▲小野光さん

小野 私は、寒さについては、結構大丈夫で、そんなに困ってはいないのですけど、びっくりしたのは、家の中がマイナスになることです。良いなと思うことは、地域や近所の人たちとの交

流があることです。東京では、そのような地域の行事やイベントはなかったので、まず驚きました。



▲伊藤朱音さん

司会 ちなみに、どこにお住まいですか。
小野 西之久保です。三九郎に参加しました。

杉山 染物ができるとい活動内容に惹かれて、それまで田舎暮らしがしたいとか、そういうのは全くなかったんですよ。野菜を作ってみたくてか。この生活を続けられるのは、染物ができる環境がある以外に、年々麻績が好きになっていて、他の皆さんのように来てすぐに味わった感動を、私は七年たった今になってジワジワと感じています。
司会 それは、役場の思うつぼですね。

一同 (笑)
関根 季節の景色が色々楽しめるところです。特に

麻績の春が。車に乗りながら景色を見たりしています。気が付くと、こんな身近にいろいろなお花などがあって。埼玉に住んでいる時は、整備された公園でしか見ることがなかったんですけれど、今は庭にもあって。



▲関根由真さん

三田 苦労したことは、やはり寒さですね。去年はマイナス十八度になった時があつて、トイレが凍ってしまつて本当にどうしようかと思ひました。良かったことは、ここに来る前に畑をやつてみたくて、それがかゝつたことです。最近はやきていないのですが、一年目に野菜を結構作つて、料理することがすごく幸せで。それは、土がそばにあるからこそできること。生活面では、それが一番嬉しかったですね。あと、花瓶に欲しい植物が、庭に生えていたり、育てたりして自

由にできるところにすごい喜びを感じました。

司会 なるほどね。皆さんは、それぞれ満喫している感じですね。苦労しているのは、やはり寒さということですか。それでは、仕事以外の趣味があれば教えてください。

木下 気晴らしに、家でギターを弾いています。
司会 アコースティックギターですか。

木下 はい、東京に住んでいる友達に聞くと、マンションでは、自由に弾けない。こちらでは、いくら弾いても問題ないです。



▲伝統工芸班の皆さんの作品

伊藤 私は森を散策しています。自然が好きなので、気晴らしに景色を見て、暇な時にそれを絵に描いたりしています。

小野 私は、編み物。あとは家でできるレベルの筋トレ。前に東京では、陶芸をやっていました。

司会 北校舎の裏に小さい窯がありますよ。私もやりたいので、ぜひ声をかけてください。

杉山 家で最近薪ストーブを入れたのですけれど、火をつけるために、いろいろな枝を、どのタイミングで入れて燃やすかといったところが趣味になりつつあります。あと趣味といえるようになりたいのは登山です。まずは、細く長く続けていきたい。

関根 私は、温泉やサウナ。麻績村から少し足を伸ばすと、いろいろな観光地の温泉があつて、本当に良い所です。

三田 去年から「とつから味噌」などを作ることが趣味のようになってきました。

次号に続く

おみっこ元気くらぶ

雪のなかで遊び尽くせ！
スノーパーク

聖高原の湖畔で雪遊びを一月十八日に行いました。重い大きな雪の玉を持ち上げて一生懸命雪だるまを作ったり、かまくらを作ったり子どもが入ってみたり、ソリ遊びや雪合戦をして、寒さに負けず遊びました。



▲寒くても元気いっぱい

ミニ運動会&閉校式
今年度最後の元気くらぶは一月二十五日、前半はミ

二運動会を麻績小学校体育館で、後半は地域交流センターで閉校式を行いました。ミニ運動会はYOU遊未來が企画した玉入れやバツク走による競争などの種目を二チームに分かれて行いました。最後に頑張った子どもたちに賞状が贈られました。

閉校式は、キャンプや通学合宿などの活動をスライドで振り返り、協力いただいたYOU遊未來代表者に感謝状が贈られ、全員で記念撮影を行って、登録者五十人の本年度事業が終了しました。



▲それー！



▲最後に記念の一枚

第九回麻績学級ボードゲーム大会

第九回麻績学級は、「新春ボードゲーム大会」を一月二十三日、地域交流センターで開催しました。長野市でボードゲームカフェを経営し、親子参加のイベントなどへ協力している滝沢武士さんを講師にお招きしました。

箱の側面を叩いて、狙った宝石を落とす「宝石ゴンゴン」や、質問に答えて多数派になると得点が獲得できる「みんなイーブン」などのボードゲームを、参加者の皆さんは、一喜一憂して楽しんでいました。



▲脳のトレーニングにもなります

麻績保育園どんど焼き

麻績保育園のどんど焼きが一月七日に行われました。やぐらの松飾りが燃え、竹がはじける音に、園児たちは驚いた様子でした。最後に願いを込めて焼いたお餅をおいしそうに食べていました。



▲立派なやぐらができました



新年早々、東北地方や北陸地域では大雪が続き、交通災害や暴風雪に警戒が必要だ。また米国のロサンゼルスでは大規模な山火事が発生し多くの被害も出ている。

一月には米国でトランプ新政権が誕生、その結果が世界の政治や経済に大きな影響を与えることが予想される。さらに四月からは大阪で「EXPO大阪・関西万博」が開催され、この万博がきっかけで国際交流が深まり未来の社会について学べる貴重な経験になれば良いと思う。

巳年は変化や再生の年と言われ、蛇が脱皮することから古いものを捨てて、新しい自分に生まれ変わるチャンスOfYearと言われている。巳年にちなんで二〇二五年が政治や経済の変動とともに未来を感じる年となり、私たちが前向きにチャンスを生かすことが大切だと思ふ。
(公民館長)

元気通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

近年、麻績小学校では、一人一台配付されたiPadをICTの授業や家庭学習で活用しています。

また、児童会の選挙ポスターは、iPadを活用して作成するなど、子どもたちは学校生活のなかで多くの利活用の可能性を広げています。

一方で保護者からは、子どもたちがiPadを学習以外用途で使用していることが気になるとの声があり、今年度のPTA学習会は、適切なネットリテラシー教育について学習することとなりました。

七月の土曜参観日を利用して「メディアとの上手なつきあい方」子どもの健康とメディア」というテーマで、「子どもとメディア信州」の島津先生より講演をしていただきました。島津先生からはメディア

おうちの人と「やくそく」をよく話し合ってください!



利用にあたっては自分で目標を立てて達成できるように「自分でマネジメントする力をつけることが大切」とのお話があり、全校児童、保護者、教職員みんなで学び合う機会となりました。この講演会をきっかけに、児童会の子どもたちが主体となって、「メディア見直し週間」が企画されました。麻績小学校では毎月十日を「ノーメディアデー」としてあります。学校と家庭で連携しての「ノーメディアデーだからメディア利用がまんする日」ではなく、

筑北中学校

「ノーメディアデーには家族と何しようか?」と、考えられる子どもたちになれるようチャレンジしています。

今回は、始業式での発表「三学期頑張りたいこと」です。

二年 渡辺 遥陽

私が三学期頑張りたいことは三つあります。

一つ目は部活です。二期の大会では、負けて悔しい思いをしたので、今までもより更に体力作りや基礎練習、声出しをたくさんして夏の大会で悔いが残らないように、試合でも多く勝てるように頑張りたいです。二つ目は勉強です。今年からは受験生になるので、三学期から毎日少しでも勉強することを習慣づけたいです。テスト期間は最低二時間を目標にして、ワークを繰り返し解いたり、授業の復習をしたり、受験用の問題集などを使って一年生の復習をしていきたいです。三つ目は委員会です。こ



▲私の頑張りたいことは…

れからは私たちが委員会を運営していく立場になります。三年生の先輩に教えていただいたことや、今までの経験を生かして、仕事に責任を持っていきたいです。二年生や委員会のメンバーと協力して、企画を考え、筑北中を更によりよい学校にできる活動を計画してみたいです。三学期はこの三つのことを頑張って、元気に過ごしたいです。

三年 久保田 洸星

僕は三学期に頑張りたいことが二つあります。一つ目は、高校入試です。僕は一学期の終わり頃から、高校の説明会や体験授業に参加したり、入試問題を解いたりして、入試に向けて準備をしてきました。国語・

数学・英語の三教科は、過去問題を何度も解きました。特に、よく間違えてしまう問題は、分かるまで何度も解き、分からない問題は先生に聞くようにしてきました。

二つ目は、毎日の授業に集中することです。特に社会は苦手な教科なので、授業中に先生の話をしっかりと聞き、分からないところは質問するようにしました。これからも復習をして、少しずつ理解を深めていきたいです。

三学期は、三年生にとって大切な時期なので、体調管理をしっかりして、授業を大切にしながら、卒業までの三か月間を過ごしていきたいと思っています。



▲三学期になりました

麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その三)

麻績の神社と 祭神について (続き)

●日向神社 (旧村社・高命) (祭神) 大土命・建御名方命・大国主命
(境内社) 金山社 (金山彦命) ほか三社。



▲日向神社の春祭り(「麻績村の歴史遺産と文化財」から転載)

●太神宮社 (上井堀・細川「ほそが」)

由緒は、若干の史実と伝言で麻績神明宮の末社(分社)だという。

(祭神) 天照皇大神・天羽槌雄命、天棚機姫命・伊弉冉命・倉稻魂命・軻遇突智命・建御名方命。

昭和三十二(一九五七)

年地区内各所の秋葉社・明神社・諏訪社・熊野社・水上社の五社が合祀されている。

(境内社) 山神社(團場整備に伴い遷座) 八幡社(菅田天皇)があつたという記録もある。

●秋葉社 (桑山細川)

(由緒) 村誌には僧慧順(桑山横辻の人)が安永二(一七七三)年遠州(静岡県)の秋葉大権現(秋葉神社)の分神を頂き、自宅の境内に祭り、祭日に祭神を荒田山(細川峯)に移し、村民に参拝させたのに始まり…とある。

平成二十三(二〇一〇)年発行の麻績の「歴史等を学ぶ会」の会誌には、次のように記されている。

横辻市野瀬家の修験行者であつた大法生正學院が遠州秋葉山へ月参りをして、分祠を受け、横辻へ祠つたことに始まる…。

…元禄二(一六八九)年現在の場所へ遷座された。寛政十(一七九八)年大法生正學院正順が京都聖護院より木像三尺坊大権現を

勧請する。…この像は本殿正面に鎮座されていたが、平成十六(二〇〇四)年の春、盗まれたという。

このような由緒が伝承されている神社は少ない。貴重な史料である。

(祭神) 軻遇突智命(火之加具土「ひめかぐつち」神)。

火難よけ(火伏せ)・戦勝雨乞いなどの神として信仰されている。

(境内社) 石尊社ほか三社
秋葉社は、桑山細川のほか、野口、女測、砂原合同・上井堀・矢倉・市野川に祭られている。

●太神宮社 (桑山天ノ原)

麻績村土地台帳に「天照皇大神宮」の地名がある。

(祭神) 明治十二(一八七九)年明細帳には「天照大神」、昭和二十八(一九五三)年の神社庁への届出書には「豊受姫命」とあり。日向村誌にも「豊受姫命」とある。

(境内社) 社宮司社(御岳社・若宮社を合祀) ほか四社。

●天白社 (桑関)

(祭神) 豊受比売命

(境内社) 天神ほか五社
各神社の由緒と祭神は、県内外の大神社との関わりが深い。

表題の「薙鎌信仰」に関する祭神「建御名方命」を祭る麻績村の神社には、麻績神明宮(境内社の諏訪社)・市野川神社・諏訪神社(矢倉)・日向神社(高・三祭神のうち)・太神宮社(上井堀・七祭神のうち)・半在家大明神より合祀)の五神社がある。

なお麻績神社は長白羽命「ながしらはのみこと」と登記事項にある。

祭神「建御名方神(命)」 について

「諏訪大社由緒略誌」に御祭神として「建御名方神」「たけみなかたのかみ」・八坂刀売神(やさかとめのかみ)」とある。

建御名方神は、大国主神と高志沼河比売神「ぬなかわひめのかみ」の御子神で、八坂刀売神は、建御名方神の妃神で、御子神が二十二柱ある。

下社には、御二柱に併せ

て、御兄神の八重事代主神「やえことしろぬしのかみ」が祭られているが、一般には、古くから上社に男神、下社には女神の信仰が広く伝わっているとある。建御名方神は、現存する日本最古の歴史書、奈良時代の和銅五(七一二)年に選上された「古事記」が伝える「国譲り神話」に登場する神・大国主命の異母次子である。

高天原の天照大神は、出雲の大国主命に国譲り迫る。大国主命は、御子神八重事代主命と大神の勧告に従うが、出雲の豪力者・建御名方命は反対し、大神の使者・猛将建御雷神「たけみかづちのかみ」と伊那佐(稲佐)の浜で、力比べ(現代の相撲の祖)をし、敗れて信州諏訪湖畔に逃れ、御雷に降伏した。

その後、この地の開拓と経営をすすめる、諏訪大社の祭神になったという。

次号に続く
「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



毎年恒例 本の福袋

テーマごとに選んだ二冊の本を、おまけと一緒に詰め合わせた福袋を今年もご用意しました。

新年に新しい本との出会いを楽しんでいただきたく、テーマとなるヒントを記しました。

「旅のたのしみ」「おしどり夫婦」「おいしい文学」「長野県ホラー」など、来館者は気になったテーマの本を手にとって借りていかれました。

普段手にとらないジャンルの本との出会いがあつて、



▲中には果たして何が入っているのか…？

新しい年に読書の楽しみ方を広げてもらえたら嬉しく思います。

図書館では、本年も多くの皆さんにご利用いただけるよう、楽しい企画で皆さんをお待ちしております。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。

《特集》

長野ヒデ子さんの著書

配付チラシでもご案内の通りおみ図書館開館二十周年記念講演会を三月一日(土)に予定しています。

三月中旬まで、講師の長野ヒデ子さんの著書の特集中です。

一部ですが、図書館所蔵著書をご紹介します。

著書に触れていただき、講演会へのご参加をお待ちしております。

講演会の詳細は配付チラシをご覧ください。

①とうさんかあさん



石風社

ご自身のお子さんのために書いたものが、編集者の目に留まり出版されたデビュー作。

子どもの質問に答える両親の姿が微笑ましい一冊です。

②おかあさんがおかあさんになった日



童心社

子どもが生まれてはじめてお母さんになる。そのあたりまえでいてあまり書かれてこなかった、ハラハラドキドキの一日を楽しく温かく描いた絵本です。

③せとうちたいこさんデパートいきタイ

大人気シリーズの一作目。瀬戸内の海からデパートに出かける、鯛のたいこさんのとまらない好奇心が楽し

いです。

④おにぎり おにぎり



童心社



童心社

おばあちゃんと子どもたちが作るおにぎりがたまたまなくおいしそうです。どうぞご利用ください。

小学校図書館だより

冬の風物詩 かるた、百人一首に挑戦!

一月の図書の時間は、学年にに応じてかるたや百人一首を行っています。

かるたの読み札は短い文章ではありますが、一回で聞き取る力が試されるので、楽しみながら聴く力をつけ

るのに有効な学習です。

一枚一枚が真剣勝負。取った時には歓声が上がると、すぐに気持ちを切り替え、ピタッと静かになり集中して次の絵札を探す姿が光っていました。

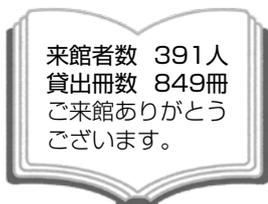
また、ほぼ同時に絵札の上に手を置いた時には、素早くじゃんけんをして笑顔で譲り合い、グループで楽しむことができました。

そして、昨年度松本山雅より頂いた『交通安全かるた』も、交通ルールを再確認するのに役立っていました。



▲見つけた！ハイ！

12月の図書館



来館者数 391人
貸出冊数 849冊
ご来館ありがとうございます。



麻績消防署からの
お知らせ

春の火災予防運動

【カジダー】（以下【カ】）
「ガオー！俺はカジダーだぞー！春は物が燃やしやすいし調子が良いな、今日も頑張つて燃やしちゃうぞー」

【消防士】（以下【消】）
「カジダー！ちよつと待った！」

【カ】「げー！麻績消防署の消防士だ！逃げろー！」

【消】「待って待って！今日はカジダーを倒すために来たんじゃないで、一緒に勉強しようと思って来たんだ」

【カ】「勉強？」

【消】「そう、カジダーはさつき調子が良いって言うていたけどどうして分かる？」

【カ】「いつも春になるとなんでも燃やせそうでパワーがあふれてくるんだ！なんでだろう？」

【消】「実はちゃんとした理由があるんだ。それは、春になると空気が乾燥する高気圧、強い南風を運んでくることで火が付きやすく燃え広がりがやすい季節になっているんだよ」

【カ】「ガオー！燃やしやすいのには理由があつたんだなー」

【消】「そう。特に長野県では農家の方が「畦畔（けいはん）焼き」といって田んぼやあぜ、土手の害虫や雑草駆除の為に火をつけるんだけど、そこから燃え広がって火事になるケースがとても多いんだ」

【カ】「火も好きだけど、長野県の農家さんが作るお米はおいしくて大好きだぞ」

【消】「もちろん！だから火をつける時は、

- ①風の強い日には行わない
- ②消火器やホースを用意する
- ③消防署に事前に連絡する

三つを必ず守りましょう」

【カ】「ガオー。分かったぞ」

【消】「それじゃあ、最後は



「春の火災予防運動」
令和七年三月一日（土）
～三月七日（金）

「麻績かるた」
～麻績村トリビア～

①澄みわたる頂からの四方（よも）の山



▲冬の三峯山頂からの景色

山に囲まれた麻績村ですが、山頂から三六〇度の眺めと言ったら、まずはお手軽な三峯山。聖湖まで車で行ってリフトに乗れば展望台に到着。標高は一一三二メートルです。

そしてもう一つは聖山。トレイルマラソンのコースに選ばれてから整備が進み、登山コースとして注目されています。筑北中学校の生徒たちも登りましたね。こ

ちらは一四四七メートル。どちらの山頂からも北アルプスなどを見渡すことができます。

（冬季に三峯山へ登るリフトは、滑走具が無い場合、乗ることができませんので、ご注意ください）

公民館行事の予定

おみ図書館開館
二十周年記念講演会

日時 三月一日（土）
午前十時から

場所 地域交流センター

講師 絵本・紙芝居作家
長野ヒデ子氏



ご冥福を祈る

市ノ瀬静子	86歳	横	辻
山本 益貴	93歳	市	野川
加瀬 義枝	88歳	本	町
久保田紀子	96歳	市	野川
宮下 好弘	85歳	野	口
宮下 友雄	85歳	叶	里高畑